

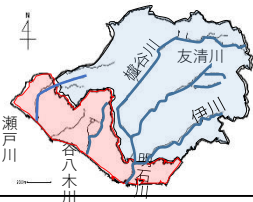
事業の背景・目的

明石市及び神戸市における地域の生物多様性の保全と再生を目指し、環境省のアカミミガメ防除の手引きに基づき、防除と防除効果の検証に取り組み、これまで得られた知見を反映したマニュアルを作成すると共に、アカミミガメ防除の重要性を啓発し、生態系の保護・保全に努める。

事業の内容

3河川におけるアカミミガメ防除の実施とその効果の検証

- 環境省のアカミミガメ防除の手引きを活用し、2つの市を流れる瀬戸川水系、神戸市の明石川水系、明石市の谷八木川水系の3河川における防除と、その効果の検証



アカミミガメの防除マニュアル「誰でもできるアカミミガメ防除」を作成し配布を実施。



マニュアル冊子の表紙（左）と一部ページ（右）

アカミミガメ防除講習会

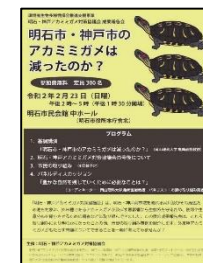
- 市民や管理者等を対象にアカミミガメ防除講習会を実施。



ため池管理者を対象にアカミミガメ対策の講習会

成果報告会の実施

- 事業3年のまとめとして成果報告会を市民向けに開催し広く啓発を実施。（参加者 148名）



パネルディスカッションの様子

得られた成果

事業の成果

- 瀬戸川、谷八木川、明石川の3水系で、アカミミガメを合計2,370匹防除（瀬戸川水系1,010個体・谷八木水系771個体・明石川水系12個体）
- 瀬戸川、谷八木水系の調査により、優先し防除するため池の抽出ができ効率的な防除に繋げることができる。
- アカミミガメ防除エリアでイシガメの確認を平成30年度2個体から令和元年度5個体と確認個体数が増加した。
- これまでの3年間の取り組みでアカミミガメ防除活動の技術的支援を19の市民団体等を実施すると共に、延べ450名に対し啓発を行った。
- 令和2年2月23日に「明石・神戸アカミミガメ対策協議会 成果報告会」を開催し、協議会のこれまでの成果報告や市民団体の活動発表等を行うと共に、携帯型マニュアルを配布し、参加者148人に対してアカミミガメ防除による生物多様性の保護・保全について啓発を行った。

事業終了後の展開等

- 低密度管理を維持するための防除体制の構築、新たな特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ）の移入による生態系の破壊、ニホンイシガメとクサガメの交雑問題等対策を継続し実施していく必要がある。